

みんなで  
考えよう  
同和問題  
人権 No. 222

## インターネットと人権問題

このコーナーでは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

インターネットは、いろいろな情報を簡単に発信・収集することができ、さまざまな人と情報を交換したり、交流を広げたりすることができ、便利なものとして、多くの人に利用されています。仕事や日々の生活の中で利用されることも多く、私たちの生活には欠かせないものとなっています。

しかし、一方で、匿名で情報を発信できる特徴を悪用し、他人の悪口や差別的な内容、

### 子どもたちの幸せと健やかな成長を

#### こいのぼり掲揚式 in 波多津東幼稚園

4月21日、波多津東幼稚園でこいのぼり掲揚式がありました。

塚部芳和市長が、『青空へ元気にはばたけ 波多津東の園児』と願いを込めた色紙と、こいのぼりの壁飾りをプレゼントすると、園児たちはお礼

に手作りのかぶとを贈りました。そして、いまりんモーションちゃんに手伝わってもらい、手づくりのこいのぼりを室内に掲揚。波多津東小学校の1・2年生も一緒に、この日のために練習してきた歌と踊りを元気に披露しました。



↑ 小学校のお兄さんやお姉さんたちにも手伝ってもらい楽しい掲揚式ができました

根拠のないうわさ、個人のプライバシー情報をインターネット上に勝手に掲載するなど、人権侵害につながる問題が多数発生しています。いったん書き込みを行うとその内容は一瞬にして拡散してしまい、その書き込みを完全に削除することは非常に困難です。

法務省の発表によると、平成27年中にインターネット上の書き込みによって人権侵害を受けたとする事案が1736件発生しており、前

年と比べて21・5%増加し、過去最多となっています。これは、10年前と比較すると6・4倍の増加となります。また、最近では、インターネット上のサイトを通じて知り合った人によりトラブルに巻き込まれ、犯罪にまで発展してしまうケースもあります。

私たちの生活を便利で豊かにしてくれるインターネットも、使い方を間違えると人の心を傷つけ、使い方によっては、加害者にも被害者にもなる恐れがあります。相手が見えなくても、インターネットの向こう側の相手はあなたと同じ人間です。常にお互いの人権が存在していること、相手の人権を尊重することを忘れずに利用したいですね。

## 郷土の文化財

腰岳と黒曜石シリーズ②

### 黒曜石産地としての腰岳

問合先 生涯学習課文化財係

(☎) 3186

良質な黒曜石は、腰岳のほか、北海道や長野県などにも存在します。これらの黒曜石産地では、山を登って黒曜石を採掘していたところもありましたが、腰岳ではそうした労力はあまり必要なかったと考えられています。

腰岳の黒曜石は、標高400m付近で生成されま

した。その後、地滑りや雨による浸食作用によって、腰岳山ろくの斜面に崩落していったと考えられています。崩落した黒曜石は、山の斜面にとどまるものもありますが、中にはふもとや海岸線付近まで転落するものもありました。崩れ出たばかりの黒曜石は角が立っています。斜面を転落していく過程で砕けたり、摩擦したりして丸みを帯びな

がら徐々に小さくなつていきます。このとき、不純物などが少なく砕けにくい良質な黒曜石は、比較的大きなままふもとなどへ転落していきます。このため、わざわざ高いところまで登らなくても良質な黒曜石が入りやすいというのが腰岳の黒曜石の特徴です。

(来月号に続く)



霧頭付近の黒曜石(左)とふもとの黒曜石(右)